

## 2024 年 4 月から 2025 年 12 月までに当院で超音波気管支内視鏡ガイド下針穿刺生検（EBUS-TBNA）の検査を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

「EBUS-TBNA 検査時の鎮痛に用いるオピオイドの違いによる患者満足度の検討」

のご協力をお願い

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

気管支鏡検査は肺癌や感染症などの呼吸器疾患の診断を目的として行われる検査です。なかでも、「超音波気管支内視鏡ガイド下針穿刺生検（EBUS-TBNA）」は、気管や気管支の壁の奥にあるリンパ節に針を刺して組織を採取する特殊な検査です。この検査では、超音波気管支鏡の先端に付けた小さな風船を気管・気管支の壁に押し当ててリンパ節を確認します。そのため、検査中に一時的に空気の通り道が狭くなり、呼吸困難などの強い苦痛を感じることがあります。検査時の苦痛を軽減するために、鎮痛薬（痛み止め）・鎮静薬（眠くなる薬）の使用が推奨されていますが、最適方法は十分に確立されていません。当院では痛み止めとしてオピオイドを使用しています。オピオイドは神経にある痛みを感じる部分の働きを弱め、痛みを感じにくくする作用があります。オピオイドの使用により、検査中の痛みによる苦痛を和らげることが期待されます。

当院では、気管支鏡検査を受けていただいた患者さんに、検査後の患者満足度アンケートのご協力をお願いしています。本研究では、このアンケートの結果をもとに、EBUS-TBNA 検査時に診療として使用されたオピオイドの種類ごとに、検査時の苦痛や満足度に違いがあるかを検討します。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により、EBUS-TBNA 検査時に、患者さんにとって負担が少ない鎮痛方法を検討することができます。これにより、検査時の苦痛軽減および安全な気管支鏡検査の実施につながることを期待されます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2024 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に姫路赤十字病院で EBUS-TBNA 検査を受けら

れた方を研究対象とします。

## 2) 研究期間

当院倫理委員会承認後から 2028 年 3 月 31 日までです。

## 3) 研究方法

2024 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に姫路赤十字病院で EBUS-TBNA 検査を受けられた方の診療情報をもとに、オピオイドの種類とアンケート結果の関連について調べます。

## 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの氏名、生年月日など直ちに個人を特定できる情報は削除し、匿名化して、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、既往歴、喫煙歴、診察所見、診療内容、アンケート回答結果、  
気管支鏡検査時の記録、画像データ、血液検査、呼吸機能検査、病理学検査、など

## 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、姫路赤十字病院の医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲載してお知らせします。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

この研究の内容について質問等がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。また、あなたの診療情報およびアンケート回答が使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、お申し出ください。その場合でも、診療において不利益を生じることはありませんのでご安心ください。なお、研究の進捗状況により、すでに解析が完了している場合などでは、途中で情報を削除できないことがありますのでご理解いただきますようお願いいたします。その他、ご不明な点などがございましたら下記までご連絡ください。

### <問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 内科 第二呼吸器内科部長

氏名：真下 周子

電話：079-294-2251      ファックス：079-296-4050

### <研究組織>

研究機関名 姫路赤十字病院

研究責任者 内科 真下 周子